



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 3月園だより

平成 29 年 2 月 27 日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.mina-to-ky.ed.jp/>

ひな人形をつくりました

3歳児



4歳児



5歳児



巣立ちの春

園長 新井 智子

2月の誕生会、年中児が司会をする傍らでそっと腰を落とし「うまく言えたね」と暖かく見守っている年長児がいました。今、修了を前に年長児がこれまで行ってきた当番や園の仕事の引き継ぎが行われています。神妙な面持ちで司会の立ち位置を教わっている年中児や、丁寧に手を添え説明している年長児。そのやりとりで成長と小学生や年長児になる自覚が見られます。

いよいよ弥生3月。寒さに震える日と並んで、穏やかで暖かな日差しに包まれる日が増えてきました。花壇の沈丁花の香り、梅の花、木々の芽、幼稚園のあちらこちらに春の息吹を感じます。年長児が春の森に見送られ、巣立つ時が近くなってきました。白金台幼稚園での3年間、子どもたちはどのような道を辿って、どのような経験を積んで成長してきたのでしょうか。幼稚園での生活は、365日のうちの195日、1日24時間の中のたった4～5時間です。ご家庭での生活の重要性はもちろんのことですが、この幼稚園でのわずかな時間の重なりでも、私は自信をもって幼稚園教育が成長の大きな力になっていると言えます。子どもたちは、創造的な生活が営める自然豊かな環境の中で、同年齢の子どもたちと関わり、ものに関わり、事象を取り込み、たっぷりと遊びこんで、子ども社会を形成してきました。遊びを通して生涯を生きていく基盤になる力をしっかりと獲得したものと確信しています。

今年1年、幼稚園の教職員が心一つにして、子どもの心に寄り添い、成長を願って真摯に教育に携わり、精一杯努めてまいりました。このことは、保護者の皆様や地域の皆様の暖かなお力添えがなくてはできませんでした。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<今月の指導のねらい>

3歳児



- 自分なりの思いやイメージを言葉や動きで表しながら、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 友達と遊ぶ中で、「うれしい」「困った」などの様々な気持ちを味わったり、相手の気持ちに気付いたりするようになる。
- 園生活をする中で身支度や片づけなど、自分で出来ることが増えた喜びを感じ、進級を楽しみにする。

4歳児

- 進んで戸外に出て、春の訪れを感じながら、友達と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 友達と一緒に生活に必要なことに取り組み、自分たちの力とする喜びや充実感を味わう。
- 誕生会の司会やお別れ会の準備、当番の引き継ぎなどを通して、自分の成長を感じたり、進級への期待をもったりする。

5歳児

- 友達と互いに認め合い、心のつながりを感じながら、残り少ない園生活を十分に楽しむ。
- 幼稚園の思い出を振り返ったり、3・4歳児と触れ合ったりする中で自分の成長を感じ、喜びや就学への期待をもつ。
- 修了式の意味を知り、修了までの見通しをもちながら一人一人が自覚と自信をもって、自分たちで生活を進めていく。